

店と催し 雨露

☎075(354)5373 不定休。イベント開催時以外の営業日はホームページ(bhnomori.com)をご確認ください。

京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎106(株式会社文と編集の社内)

- ・京阪電車「神宮丸太町」駅4番出入口から、東へ徒歩約10分
- ・地下鉄「東山」駅2番出入口から、北へ徒歩約15分
- ※地下鉄「東山」駅からバスに乗る場合 市バス「東山三条」停から、31、201、202、203、206系統に乗車。「熊野神社前」停下車、徒歩約3分



「店と催し 雨露」は「文と編集の社」に、2020年4月にできた表現を楽しむスペース。読みものをつくってきた私たちだからこそ提案できる、表現の楽しさを発信していきます。

- ・毎月さまざまなイベントを企画しています。最新情報はホームページで。
- ・「店と催し 雨露」で個展を開きませんか？
詳細はホームページの「店と催し 雨露」の「about」にあります。
ご興味のある方はご相談ください。

新型コロナウイルス対策にご協力を

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入店の人数を制限させていただく場合がございます。入店の際には下記対策にご協力をお願いいたします。

- ①入店に際して、アルコール消毒液で手指消毒、もしくは石鹸を使って手を洗ってください※アルコール消毒液や石鹸は用意します
- ②店内ではマスクを着用してください※マスクはご持参ください
- ③店内の換気を行います
- ④「店と催し 雨露」のスタッフも、適宜手指消毒をし、常時マスク着用とさせていただきます

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本イベントを中止、または延期する場合もございます。その際は、HPでお知らせいたします。

文 字 を 話 す

Talk About Typography

タイポグラフィとは、読みものを読みやすく、そして伝わりやすくしてくれている活字のデザイン。普段意識をすることはあまりないかもしれませんが、このタイポグラフィに注目すると、その文字が何を伝えようとしているのかをキャッチすることができ、そして文字や言葉が持つ面白さをより深く実感することができ、独特のユーモアで、そんなタイポグラフィの魅力を浮き彫りにする丸井栄二さんの作品を展示します。

丸井栄二作品展

会期／9月6日(日)～27日(日)の土・日・祝

営業時間／13時～18時 会場／店と催し 雨露

丸井栄二 アートディレクター／デザイナー

1990年、京都芸術短期大学(2000年に京都造形芸術大学〈現京都芸術大学〉と統合) 専攻科課程修了。10年のデザイン事務所勤務を経て、2000年に丸井栄二デザイン室を設立。東京TDC賞2011、2012にて入選。「村上春樹書籍表装展」「アドリアン・フルティガーへのオマージュ展」「日本・ベルギー・レーターアーツ展(準グランプリ受賞)」に出展。2017年にはグループ展「Typo Craft Helsinki KyoToDay」に参加。期間中、ワークショップの講師を務める。さらに同年、個展「文字と定着」をコミュニティーストアTOSEE(京都)で開催。2018年にはグループ展「TYPE RESET 言葉と文字『』」の企画・開催も。グラフィックデザイン全般の制作に加え、文字や言葉の可能性を研究・表現するほか、デザインで地元を考える「地元を考える会」を主催し、ワークショップを各地で開くなど、精力的に活動。現在、京都芸術大学 情報デザイン学科准教授。